信州大学学術研究院超学系
准教授（応用微生物学・微生物機能開発分野）公募要領

１．公募の趣旨・背景

信州大学では、水の循環利用や水由来水素エネルギーの生成・利用をはじめ、水を起点とした地球環境再生を目指す「アクア・リジェネレーション（Aqua Regeneration：ARG）分野」の研究力強化を推進しています。また、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の採択を受け、世界最高水準の研究拠点形成と地域・地球規模課題の解決に貢献する研究大学を目指しています。令和 6 年 3 月には、その中核となる研究組織としてアクア・リジェネレーション機構（ARG 機構）を、令和 7 年 4 月には、ARG 機構の教員組織として超学系を設置しました。

さらに、令和 8 年 6 月に、ARG 研究に関するグローバル教育を推進するために、アクアロジー専攻（修士課程）の設置が認められ、令和 9 年 4 月に一期生を迎えます。アクアロジー専攻は修士・博士の 5 年一貫プログラム（博士課程は令和 11 年設置予定）をすべて英語で提供し、グローバルな研究者・技術者を育成することを目的としています。

本公募では、当機構、専攻における教育、研究及び運営を推進するため、教員を一般公募により募集します。公募対象者は、アクアロジー専攻においてグローバルな教育・研究指導を担い、微生物資源の探索・機能解析、機能強化乳酸菌の創製、腸内細菌の機能解析など、応用微生物学に関連する研究に取り組む研究者です。特に、水環境における微生物機能の活用やバイオレメディエーション技術の開発を含む研究を通して、生命と環境を横断する「One Health」に貢献する意欲のある研究者の応募を期待します。

２．職名・人員

准教授・１名

３．所属学系

信州大学学術研究院超学系

４．主担当部局（関係学部）

信州大学アクア・リジェネレーション機構(農学部)

５．研究分野

大分類：ライフサイエンス
小分類：応用微生物学

６．職務

下里剛士 PI ユニットの一員として以下の職務を中心に従事する。

(1) 教育担当：

2027 年度から新設する大学院（アクアロジー専攻）において生化学やバイオテクノロジー分野を中心とした講義、演習、実習並びに大学院生の研究指導を、英語により担当する。ま

た、分野横断型教育を推進し、次世代の研究者・高度専門人材の育成に貢献する。

(2) 研究分野：
ARG 機構が取り組む水環境における微生物機能の活用（バイオレメディエーション技術の開発を含む)、機能強化乳酸菌の創製、腸内細菌に関連する研究などを基盤として、新たなアクア・リジェネレーション技術の創成に取り組む。特に、微生物資源の探索・機能解析、有用微生物や生理活性物質の探索・開発など、応用微生物学の知見と技術を活用した研究を推進する。また、ARG 機構に所属する教員と連携し、分野横断型研究を推進するとともに、教育プログラムを主導する。

(3) 運営業務：
超学系、ARG 機構、アクアロジー専攻の運営業務

7．応募資格
次の（1）から（6）を満たす方
(1) 博士の学位を有する者、又は採用予定日までに博士の学位を取得見込みであること。
(2) 応用微生物学・微生物機能開発分野に関連する教育実績を有し、アクアロジー分野におけるグローバル教育に意欲を有すること。
(3) 応用微生物学・微生物機能開発分野において優れた研究業績を有し、微生物資源及び微生物機能の利活用を通じて、環境負荷低減技術を含むアクア・リジェネレーション分野の創成に意欲を有すること。
(4) 大学院学生の教育・研究指導並びに大学運営に積極的に取り組むことができ、英語による教育・研究活動を遂行できること。ただし、大学運営に必要な協働ができる程度の日本語による日常的なコミュニケーション能力を有することが望ましい。
(5) 国籍及び性別は問わない。
(6) 普通自動車免許保持者（※長野県の地勢・交通環境上、車保有が望ましい）

8．採用予定日
令和 9 年 2 月 1 日以降のできるだけ早い日

9．待遇
雇用形態：常勤(任期なし)
給　　与：国立大学法人信州大学特定教職員就業規則に基づく年俸制（年俸額は、国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則等に準じて学歴・経験を考慮し算定された基本給額に、期末勤勉手当額を加算して算出。個別具体的な年俸額の試算は、[13. 問合せ先]にお問い合わせください。）
定　　年：65 歳（定年退職日：定年に達した日以後における最初の 3 月 31 日）
勤 務 地：飯田南信州サテライトキャンパス（エスバード）、松本キャンパスおよび伊那キャンパス
就業時間：専門業務型裁量労働制。みなし労働時間 1 日 7 時間 45 分
（8:30～17:15（休憩時間 60 分）を標準とする。）
休日休暇：法定休日は日曜。本人の裁量により土曜、祝日に勤務は要しない。
年末年始、夏季休暇、年次有給休暇、その他の休暇制度あり。
福利厚生：雇用保険、労働災害保険、社会保険加入（文部科学省共済組合）
受動喫煙対策：あり（キャンパス内禁煙）
そ の 他：国立大学法人信州大学の規定に基づく

１０．応募締切

令和 8 年 12 月 2 日（水）17 時 00 分　提出書類必着

１１．書類提出方法及び提出書類

JREC-IN Portal から Web 応募にて応募書類(以下(1)～(8)の書類)を提出してください。
提出の際には、(1)～(8)までのすべての書類を１つの PDF ファイルとしてまとめ、ZIP ファイルでアップロードしてください。電子メールや郵送での受付はいたしません。

(1) 送付状（様式自由）
(2) 履歴書：自由形式にて、写真貼付、学歴、職歴、所属学協会（活動内容を含む)、学位、学位論文題目、賞罰を記載ください。
(3) 研究業績リスト（原著論文、国際会議プロシーディングスやプレプリント、著書、解説・総説、招待講演、外部資金獲得実績、その他 に分類してください。）
(4) 主要論文（3～5 編）と申請者の貢献を含む要約
(5) これまでの研究成果の概要、教育上の実績、運営上の実績、社会的貢献
(6) 着任後の教育・研究に対する抱負（A4 で 1 ページ程度）
(7) 推薦書又は照会可能者２名の氏名と連絡先
(8) 連絡用のメールアドレス、電話番号および住所

※ 提出書類は返却しませんが、本件選考に係る個人情報は、採用選考の手続き及び付随する業務以外の目的で本人の了解なく使用することはありません。

１２．選考方法

第一次選考（書類選考）を経て、第一次選考合格者に対して第二次選考（面接審査（一部英語での面接選考及び模擬授業)）を実施します。

- 第一次選考の過程において、確認の必要に応じてご連絡を差し上げることがございますので、あらかじめご了承ください。
- 面接場所は原則として、信州大学長野（工学）キャンパス（長野市若里 4-17-1）で実施します。面接のための交通費・宿泊費等は応募者負担とします。
- 信州大学は男女共同参画を推進しており、業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし、これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

１３．問合せ先

信州大学アクア・リジェネレーション機構
E-mail: arg-shomu@shinshu-u.ac.jp

１４．信州大学アクア・リジェネレーション機構のホームページの URL

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/arg/

１５．その他

信州大学では、研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。また、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として、学内保育施設運営、ベビーシッター派遣事業割引券の配付、大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。